

消防出初式

1月12日(日)大分市消防団の出初式が大分市平和市民公園多目的広場で行われました。大分市消防団(39分団)と市消防局などから約1800人が参加、日岡分団も37名の団員が統制のとれた入場行進を行いました。

また、永年勤続者等の表彰式もあり日岡分団は4名の方が受賞しました。

佐藤宏一団長も「申し分のない出来だった。地域の安全に精一杯貢献したい。出来れば、20代の若い人が入団して欲しい。」と語っていました。

◇永年勤続表彰者

25年 堀 哲夫・高倉 慶紀
20年 武本 長智
15年 牧 竜也

日岡体育協会の研修

1月18日(土)日岡体育協会の研修会が明野アクロスの大ホールで開催されました。ルネサンスおおいのフィットネストレーナーの釘宮正道氏が「お腹と筋トレ」という講演がありました。腹部には4つの筋肉があり、各筋肉が家の構造でいうと「屋根」「柱」「壁」「床」部分にあたり、この筋肉が弱くなると、家の中でつまづいたりすることが多くなるという内容でした。

この後「お腹をへこませる運動」や「両手を伸ばして片足で立つ」等の実技を行いました。参加者の皆さんは悲鳴をあげながらも、結構楽しそうに取り組んでいました。

日岡校区体育協会

日岡体育協会事務局長の牧宏樹さんは「昨年に比べると参加者が少なかったが充実した研修会ができました。」と語っていました。

165回目のクラス会

昭和19年3月28日に大分市日岡国民学校(現大分市立日岡小学校)を卒業した同級生で結成した「日岡元気クラス会」(会長 牧陽吉氏・副会長 宮崎則喜氏)が、「米寿」を迎え会の目標を達成したと令和2年3月26日165会目のクラス会で幕を閉じました。卒業当時は、太平洋戦争のさなかで次第に戦況も厳しくなり、授業も軍事教育一色になり、卒業写真もない悲しい小学校時代を送ったそうです。

平成16年5月に開催した同級会で「この盛り上がった雰囲気継続させたい」との強い要望があり「日岡元気クラス会」という名称で、翌月から毎月(8月を除く)開き続けたそうです。

例会の内容は、早口言葉の朗読・誕生会・雑学講座等を行い、時には県内旅行や「豊の国健康ランド」での忘年会などで友好を温めたそうです。特に「年輪76才=極める技」をテーマに自分の趣味を生かした作品を展示した文化祭を開いたり、卒業時にはなかった校歌をCD化(独唱 田原眞佐衣先生・ピアノ伴奏 山岡あゆみ先生)して合唱したこともあったそうです。大分合同新聞夕刊「読者のページ」欄にも3度採用されました。しかし、結成当初は22名いた同級生も一人減り二人減りと、歳を重ねる毎に少なくなり、現在は9名となったので、14年10ヶ月続いた会を元気な内に終了しようと決定したそうです。昭和を57年間平成を30年間、そして令和と3代に

A級昇格も善戦及ばず

第43回大分市校区・地区対抗卓球大会が2月11日(火)コンパルホール体育館で開催されました。各地区から48チームが参加し、3階級に分かれて熱戦を展開しました。昨年B級で優勝し、A級に昇格した日岡は、抽選でCブロックに入り、予選リーグで3敗し、決勝トーナメント進出は果たせなかった。

▽予選リーグ

日岡 0 - 4 明野A
" 2 - 4 滝尾A
" 3 - 4 吉野

特に最終戦の吉野とのゲームは、手に汗握る大接戦となり、最後まで勝敗の行方がわからない展開になりましたが、惜しくも及びませんでした。



熱戦が展開された会場

木村功監督は「A級のチームはやはりレベルが高かった。A級に何とかして残りたいが残念です。また、来年はB級で頑張る昇格を目指したい。」と語っていました。



対吉野戦を見守る日岡ベンチ

亘って活躍された皆さんが「人生100年」に挑戦することを期待します。

※大分合同新聞掲載日

2004(平成16年)8月27日
2008(平成20年)1月4日
2014(平成26年)9月24日



女子シングルス(40歳以上)で健闘する橋本選手



男子ダブルスで息の合った竹本・石井組